



大地申 第8号

「コンプライアンス違反を是正し正常な施策実施を求める緊急申し入れ」団体交渉開催！

大宮地本は、大宮支社より10月28日「営業関係施策について」提案を受けました。駅の車内貫通業務や遺失物取扱い等をセントラル警備保障へ委託するという施策です。しかし、労使議論を経ずに11月1日支社研修センターで営業部による机上教育、11月7日には各職場で実習が開始されました。これまで信義誠実に向き合い築き上げてきた労使関係の否定であり、誠実交渉義務違反・不当労働行為と言えます。また、実習に向けての社員説明は掲示1枚、点呼で言われたのみの職場もありました。職場では「コンプライアンス違反ではないか？」との声が多く上がっていますが、疑問点も解決されないため「教育をどこまでやっていいのかわからないか？」「遺失物取扱いは社員番号で責任が生じるため扱わせられない。」など実作業にも支障をきたしています。これらの職場からの声を受け止め、緊急申し入れを行いました！

1. 団体交渉を行う前に実施された委託先会社の教育及び実習は、「提案＝実施」であり、団体交渉義務違反であり、不当労働行為にあたるため直ちに止めること。

◆会社回答：今後も施策実施にあたっては時間軸を意識し、スピード感を持って積極的に推進、実現していくとともに、労使における必要な議論は真摯に行っていく考えに変わりはない。具体的な提起があれば「労使間の取扱いに関する協約（平成30年10月1日締結）」に則り、取り扱う。

組合：この間、支社から提案される施策に真摯に向き合ってきているがどうか？

会社：支社としても真摯に向き合ってきた。

組合：緊急申し入れせざるを得なかった。労使議論を経ずに職場で教育実習が行われている。何故か？

会社：勤労課が今施策に対して丁寧さを欠いた。甘えがあったことは事実。

組合：丁寧さが欠けていたとはどういうことか？

会社：前任の担当者とのコミュニケーション不足であった。切羽詰まった日程調整になってしまった。

会社：提案時には早めに提案してしっかり教育していくと話したが、詳細まではお伝え出来なかった。

組合：労使議論を経て実施していかなくてはならない！不当労働行為にあたるとの認識はないのか？

会社：第1段階の齟齬は「(大宮地本に)伝わっていると思っていた。」ということ。そこは会社も受け止める。教育は止めた。

組合：何故止めたのか？

会社：真摯に議論してきた。この間の姿勢は変わらない。貴側に指摘を受けたこともあり止めた。

組合：大きな変化点のある施策であり、勤労課のみならず主管部が責任を持って丁寧に向き合うべきだ！

会社：勤労課が窓口であることは基本だが、大きな変化点では主管部もしっかり入って説明していく。

組合：我々は不当労働行為として認識している。会社として真摯に受け止めていただきたい！

会社：今後も施策実施に向けて真摯に対応していく。**同事象を発生させないことを確認！**

2. 現在行っている教育及び実習は、コンプライアンス違反に該当するため直ちに止めること。

◆会社回答：施策実施にあたり、必要な準備等は実施していく考えである。なお、施策実施後の受託会社社員の教育、訓練については受託会社で行うことになるが、必要な連携は行っていく。

組合：コンプライアンス違反の疑いを感じている。契約内容はどうなっているのか？

会社：契約はまだ行っていない。今回委託計画にあたって、信用調査などしっかりできるかどうかの判断をするためには教育・実習をしないと判断できない。

組合：検修施策では初めて委託するものについて、グループ会社が逆出向して教育などを対応しているが？

会社：書面でのやり取りを行っている。守秘義務など手交している。会社としてはしっかり対応している。

組合：委託契約されていない方々が実習している。請け負っていない者に業務をさせていることは問題では？

会社：これが出来るようなルールを決めている。約束を取り交わしている。

組合：そのルールが分からない！！法的に問題ないのか？現場長も理解していない。社員も分からない。遺失物の取扱いは民法に基づいている。それでいて第三者に扱わせている。全く理解が出来ない！！

会社：不安なところは解明交渉で問題のない根拠を示す。実習を不安なく進めるためにしっかり対応する。

組合：IDやパスワードを持たない人に遺失物取扱い業務を教育する。管理者には「大丈夫だ。」しか言われたい。具体的に課題を解消するべきだ！

会社：今の段階は積み上げている段階である。契約に向けた準備はしっかりやっていきたい。

組合：不安解消に向けてしっかり議論していく。我々は法に抵触しているのではないかという認識だ！

解明交渉を通じて問題点を掘り下げ、職場の不安を払拭させていきます！